

# English Camp at British Hills

平成24年9月14日（金）～16日（日）に2泊3日で福島県にある British Hills に1年生国際教養科と普通科希望者の計46名で英語合宿を行いました。バスで新潟を經由して片道6時間という遠い場所でしたが、British Hills のゲートをくぐればそこはイギリス。高価な調度品で埋め尽くされた豪華な King's room と Queen's room、客室棟は家具も調度品もまさに英国流。メインダイニングの refectory はオックスフォード建築に基づいた高い天井が特徴の壮麗な建物。Dinner には全員が正装をして臨みました。

さて、授業は90分授業を午前に2コマ、午後2コマ、3日間でトータル6コマを受講。3グループに分かれ、1クラスの人数は14～16人。授業はもちろん全て英語。

初日は、チェックインとビデオのオリエンテーション。様々な国の挨拶や body language を学んだ Culture and Manners の授業の後、正装に着替えて夕食。夕食後は、Tuck Shop でキャンディーの量り売りを体験したり、プールで泳いだり、体育館でスポーツをしたり、各自フリータイムを楽しんでいました。今回は新棟に宿泊。部屋は3～4人部屋で、フロアごとに豪華なトイレとシャワーブースがついていました。



2日目は World of Music、Discussion Skills、Cooking Scones では最高においしいスコーンを焼き、Shakespeare のクラスでは、彼の時代に使われていた羽ペンを作り、実際に文字を書く体験をしました。



3日目の Speech Skills では準備してきたスピーチを全員が披露。5つのトピックから好きなものを選び、3分スピーチをしました。6人のファイナリストが決戦をし、3名が賞を受賞しました。春の英語合宿を体験している生徒も多かったので、レベルの高いスピーチで先生からも褒めていただきました。



というわけで、「イギリスよりイギリスらしい」というパンフレットの言うとおり、パスポートなしでいけるイギリスの天国のような3日間はあっという間に終わってしまいました。全員が「帰りたくない」といながら帰りのバスに乗ったのでした。

春より苦しんだ事は少なかったが、周りの友達の英語の表現などを聞いていると、自分はまだまだだと思えたし、良い刺激になった3日間だった。アメリカはこれ以上難しい場所になると思うので、3月まで、きちんと勉強していきたい。

イギリス英語は聞き取りにくかったのですが、いい経験になりました。自分の発音のあいまいさや積極性が足りなかったです。

## Zenkoji Orientation with New ALTs!

8月17日(金)、夏期休業中でしたが、善光寺英語ガイドがありました。県庁に集合すると大勢の新人ALTの方たちがいました。4人ずつの少人数グループに、ブロックリーダーのALT1名ずつと、新人ALT複数名が加わり、交流を深めることができました。

全体を通して思ったのは語い力がないということです。自分が言いたいことを伝えるのに文法はもちろん単語でも「これは英語でなんというんだろう」ということがすごく多くて、自分の力のなさに少し落ちこみました…。

したがって、もっと日常的に身のまわりのことで英語ではなんというのか、日々の学習の中でも意識的に単語や他のことも覚えたりして力をつけていきたいと思いました。

それから思ったのは積極性がないということです。せっかくネイティブと話せるよい機会だったのに私はなかなか積極的になれなくて、何を話せばいいんだろうと思って結局あまり話せませんでした。

すごくもやもやしました。日本語だったらもっと話せるのに、言いたいことがいえるのに…とすごく思いました。でも、まだ自分がまだ全然勉強できていないし、英語が身につけていないということがわかったので良かったと思います。(中略)もっと話せるように、自分が言いたいことをいえるようになりたいという気持ちを忘れずに勉強していきたいです。

全体を通して思ったことは、ALTが進めてくれて助かったという部分がたくさんあったので、ALTが楽しんでくれたという点では良かったが、もっと自分たちが進めるべきだった。それと、自分の言いたいことが伝わらないもどかしさと、話していることをあまり理解できないというイライラさを今回とても感じたので、もっともっとがんばらなければ!と感じた。そのためにできることというのはたくさんあると思うので、もっと努力したい。

(前略) 今回のガイドでよかったこと3つ目は自分の考えを英語を使って言えたということ。これは今回一番の収穫だと僕は思う。相手からの質問に返答するとき、簡単で短いかもしれないが自分の言いたいことをしっかり英語で言えて、それが相手に伝わったということはこれからの自分の大きな自信になると思う。また最初に言いたい言葉が英語に訳せなくても慌てずに、他の簡単な日本語に直してから英語に訳せたというのも大きかった。

(前略) 本堂の中の「びんずる尊者」で私が説明したところ、「善光寺のことよく知っているんだね」と言われたことも心に残っている。自分の伝えなかったことが相手に伝わったことでもっと他の国々の人たちに伝えたいと思った。

ガイド演習のときほど善光寺のすみずみまでをガイドしなかったけど、プリントの質問をほとんど答えることができよかった。演習のときに学んだことがたくさん英語で言えてすごくうれしかったし、伝わったことがとてもうれしかった。

